

授業改善推進プラン < 英 語 科 >

(英 語) 科 における令和7年度授業改善推進プランの検証

< 成果 >

- ・英単語や英文の反復練習を、授業ごとに行い、「書くこと」で、基礎学力の定着を図った。
- ・リスニングとリーディングを計画的に実施し、「読むこと」「聞くこと」を身に付けさせ、表現力の育成を図った。

< 課題 >

- ・自分の考えや意見を、周りに英語で伝える力を身に付けるために、協働的な学習の場の工夫を行っていく。

(英 語) 科 における調査結果の分析

内容別結果の分析	1 学年：全体的には、目標値を大きく (10 ポイント程度)、上回っている。しかし「日課に関わる聞き取り問題」のみ目標値を下回っている。また、英作文問題 (例文を参考にし、自分のことについて表現する) は、目標値に少しだけ (2 ポイント) 上回っていた。 2 学年：全体的には、目標値を上回っているものが多い。しかし「語形・語法の知識・理解」において大きく (13 ポイント) 目標値を下回っている。 3 学年：全体的には、目標値を上回っている。しかし、昨年度に比べて「読むこと」の値が少し下回った。
観点結果の分析	1 学年：目標値に対して全ての観点で上回った。より値を伸ばせるように指導していく。 2 学年：「思考・判断・表現」のみ目標値を上回った。「知識・理解」の値を伸ばせるように指導していく。 3 学年：目標値に対して全ての観点で上回った。より値を伸ばせるように指導していく。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

1 学年：「聞き取り」の能力を高めるために、できるだけ Classroom English を使ったり、単語や英文の発音練習を多くつくり、定着させる。また、「英作文」の能力を高めるために、自分で表現し、掲示や発表する機会をできるだけつくる。 2 学年：「語形・語法の知識・理解」の向上を図るために、授業内における「説明」と「練習」の割合を 70% 以上に設定し、既習事項および新出文法の定着を促す。 3 学年：「読むこと」の値の向上のため、授業では教科書以外にもリーディング教材に取り組み、生徒の英文を読むことに対するの苦手意識をなくしていきたい。

(英 語) 科 の授業改善策

1 学年：Classroom English や単語や英文の発音練習、英作文の展示や発表など、授業で学んだ表現や語彙を実際に活用する機会をできるだけつくり、前向きに取り組めるようにサポートする。 2 学年：これまでの授業においては、基本的に All English で活動や練習を進めてきた。日本語による「説明」の時間を十分に確保できていなかったことが今回の結果につながっていることが推測される。今後は、新出文法を扱う時間などにおいて日本語による「説明」の時間を十分に確保する。 3 学年：リーディング教材については、初めにグループで内容理解のお時間をこれまで多くとってきた。今後は個人で読む作業を進める中で英文の読むことに慣れさせていく。
